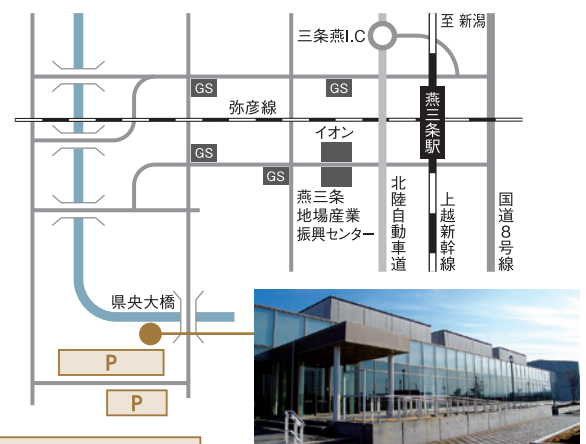
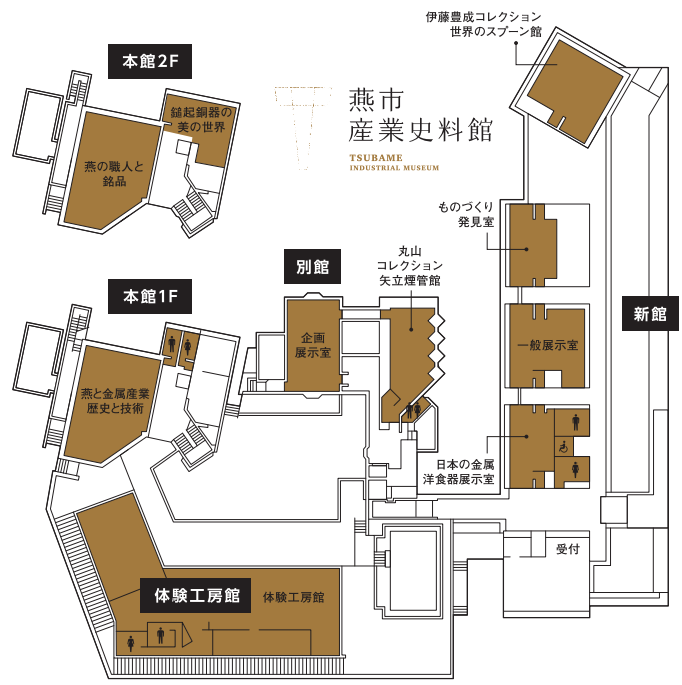




「産業」を冠した博物館

北越堂 本間 市蔵(昭和期の工房)



無料駐車場180台

○上越新幹線三條駅から車で5分
○北陸自動車道三條燕インターから車で5分

住所 | 〒959-1263 新潟県燕市大曲4330-1
 電話 | 0256-63-7666
 入館料 | 大人:400円 / 小・中学生、高校生:100円
 団体(10名以上) 大人:300円 / 小・中学生、高校生:80円
 年間パスポート 大人:2,000円 / 小・中学生、高校生:500円
 開館時間 | 午前9時～午後4時30分(体験受付は午後4時まで)
 休館日 | 月曜日(祝日の場合は翌平日) / 年末年始

<http://tsubame-shiryoukan.jp/>



燕市産業史料館

TSUBAME INDUSTRIAL MUSEUM



歴史をたどり、未来へつなぐ



本館

起源を紐解く



江戸時代から続く燕の鋳起銅器やヤスリ、煙管、彫金といった伝統的金属工芸技術について、製作工程や作業場の復元展示を通して紹介しています。また、これらの作品を職人のプロフィールや技術の系譜とともに展示するほか、人間国宝・玉川宣夫氏の木目金作品や人間国宝になるまでに歩んできた軌跡を物語る展示もあります。

- 燕の金属産業 歴史と技術
- 燕の金属工芸 銘品ギャラリー



玉川堂5代目
「銀銅二重口打出湯沸」



鋳起銅器作業場復元展示

矢立煙管館

粋を感じる



丸山コレクションでは、燕出身の実業家である丸山清次郎氏(1900～1982)が生涯をかけて収集した“煙管 [キセル]”と“矢立 [ヤタテ]”の一大コレクションの銘品の中から紹介しています。コレクションは主に江戸時代から明治時代にかけての作品で、煙管煙草入組物55点、煙管115点、矢立269点から構成されています。

- 丸山コレクション 矢立煙管館
- 企画展示室



清水次郎長愛用品
「棧留革提げたばこ入れ」



徳川綱吉愛用品
「銀変り御殿形羅宇きせる」

新館

変遷を知る



日本の金属洋食器展示室では、明治から始まる燕の金属洋食器の歴史を、文明開化以降の日本の食文化の変遷と照らし合わせながら鑑賞できます。一般展示室では、金属ハウスウェアを展示しているほか、江戸時代から広がり続ける燕の金属産業の技術の発展も一望できます。

- 日本の金属洋食器展示室
- 一般展示室
- ものづくり発見室
- 伊藤豊成コレクション 世界のスプーン館

伊藤コレクション世界のスプーン館では、医者で画家の伊藤豊成氏が世界中から収集したスプーンを展示。コレクションのスプーンは約5,000本に至ります。



体験工房館

技を楽しむ



体験工房館では、鋳目入れなどの伝統工芸技術や、チタンの酸化発色といった現代技術をはじめ、燕に馴染みある産業を体験することができます。また、常設体験のほか、職人指導による特別な体験や期日限定の体験も開催しています。※体験内容はHPまたはお電話でご確認ください。

- 体験工房館

体験内容はこちらから →

